

# なごやの学童保育

## 市連協ニュース No1

2021年度・5月11日発行  
 名古屋市学童保育連絡協議会  
 TEL (052) - 872 - 1972  
 FAX (052) - 308 - 3324  
 E-Mail: info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

## 施策充実へ議会と連携を

### 市連協が定期総会

名古屋市学童連絡協議会（市連協）は4月18日（日）に第41回の定期総会をオンライン形式で開きました。82人が出席し、名古屋市の施策充実などを目指す2021年度活動方針案や新役員などを満場一致で承認しました。



新年度方針をオンラインで提案する池田会長

基調提案では賀屋哲男事務局次長が、市の2020年度の初の調査で確認された公表21人、実質90人以上の待機児童に言及し、解消を訴えました。コロナ禍でも1m以上の距離がとれない「1人当たり1.65㎡」という面積基準の不十分さも指摘。企業型の預り施設が増える状況にも触れ「生活を主にした学童保育所をどう残せるか考えるべき」と提案しました。

2020年度総括では、進恵美事務局長が、コロナ禍でオンライン会議なども活用し意見交換や交流をし、市の施策充実などに組んだことを報告。21年度の市の助成拡充として①プレハブ施設の一部木質化、②賃借施設への最大月25.55万円の家賃補助増額、③最大250万円の移転費助成新設一などの成果を確認しました。

2021年度活動方針では池田徹弘会長が方針の五つの目的（①子どもを真ん中に置いた放課後生活の充実、②条例や制度の充実、③地域で必要とされる学童保育になる、④学童保育の理解を広める、⑤学童保育指導員の処遇、就業環境、育成制度の充実）を読み上げ、名古屋市議会と連携を深めて市への要望を実現する基本姿勢を強調しました。

## みんなで活動支えよう

### 池田徹弘会長あいさつ



一般の保護者や指導員の中には、市連協をととても遠い存在と感じる方もいると思います。でも私たち市連協の役員もみなさんと同様、普段は自分の仕事をしている普通の保護者や保護者OBや学童保育指導員です。特別な存在ではありません。市連協の活動をさらに活発にするには、保護者と指導員のみなさんの力が必要です。

各学童保育所には個別にいろいろな問題や悩みがあると思います。その解決に向けて名古屋市の学童保育施策をさらに拡充させるには、行政や議会への働きかけが重要です。

名古屋市には、市議会の過半数を大きく上回る議員で構成する「名古屋市会学童保育議員連盟」（議連）があります。おかげで名古屋市では国が示す施策が他の市町村に先駆けて実施されています。また市独自の施策も多数あります。市連協は今後も行政や議会との連携を深めていきます。また、施策内容などの情報をわかりやすくみなさんに伝えるとともに、学習会なども企画します。各関連団体との連携にも取り組みます。

みなさんの活動への参加で市連協や各区の連協、さらには愛知県連協や全国連協の活動が活発になれば、学童保育の必要性が社会により認識されることにつながります。コロナ禍により保護者も指導員も仕事の環境が変化し、みな疲弊しています。だからこそ一部の役員に任せるのではなく、みんなで支える学童保育にしていきたいと思います。

仕事が忙しい中で学童保育の活動にかかわるのは大変です。しかし子育ては本来大変なものです。子どもは私たちを見ている。子どもたちの成長を願って一緒に活動をしていきたいと思います。